

2026 年度 治験事務局研修 募集要項

主催：岡山大学病院

1. 研修の目的

本研修会は、治験事務局に携わるスタッフの皆さまを対象に、国際共同治験の受け入れに向けた受託体制の整備と、実務における的確な判断力の向上を目的として開催いたします。

近年、国際共同治験の推進が重要視される中、治験事務局には多職種や治験依頼者と円滑に連携し、グローバル基準に対応した迅速な業務遂行が求められています。

本研修では、治験事務局が担う「倫理的役割」を根底に置きつつ、「Single IRB」の実態や「治験エコシステム」の浸透といった最新動向を網羅します。さらに、製薬企業視点での受託のポイントを学ぶとともに、現場で生じる“判断に迷う場面”を想定した演習を通じて、日々の業務に直結する実践的な対応力を養います。

これからの国際共同治験を現場から支える事務職員の皆さまにとって、実務の不安を解消し、次の一歩につながる機会となれば幸いです。皆さまのご参加をお待ちしております。

2. 研修対象者

- 1) 治験事務局の業務に携わるスタッフ（事務職員）を対象といたします。
- 2) 本研修会は、臨床研究中核病院が開催いたしますが、臨床研究中核病院以外の方を優先的に対象とさせていただきます。

3. 日時

2026 年 11 月 13 日（金）14：00～17：00

4. プログラム概要（予定のため変更になる場合がございます）

14：00～14：10 開会挨拶・オリエンテーション

14：10～14：40 講演：「治験事務局が担う倫理的役割」

国立健康危機管理研究機構

北川 智子 先生

14：40～15：10 講演：「本邦における Single IRB の実態と課題」

国立精神・神経医療研究センター病院

福田 祐介 先生

15：10～15：20 休憩

15：20～15：50 講演：「治験エコシステムを浸透させるために治験事務局が知るべきこと」

大阪大学医学部附属病院

一條 佐希子 先生

15：50～16：20 講演：「ドラッグ・ラグ／ドラッグ・ロスの解消に向けて

— 日本が“治験に選ばれる国”になるために —

日本製薬工業協会

榊原 由紀子 先生

16：20～16：50 演習：「国際共同治験で治験事務局が直面する“判断に迷う場面”
とその対応」

16：50～17：00 閉会挨拶

5. 開催方式

オンライン開催（zoom を使用予定）

6. 募集人数

30 名程度

募集人数を超えた場合は、経験年数等により主催者側で参加者の選考を行う場合があります。

7. 応募方法

Web 申し込み

<https://forms.gle/cmSGYrrgCYpPuazSA>

詳細につきましては、下記 HP を参照ください。

<http://shin-iryo.hospital.okayama-u.ac.jp/education/>



※上記 QR コードから
申し込みできます。

※お申込み後、自動で申し込み完了メールが発信されますので、必ずご確認ください。

自動メールが届かなかった場合には、下記「問い合わせ先」までお問合せください。

8. 修了証書

全研修カリキュラムを修了し、アンケートに回答いただいた方に、修了証書を交付いたします。修了証書は後日送付いたします。

9. 募集期間

2026 年 9 月 28 日(月)～2026 年 10 月 25 日(日)

10. 研修費用

無料（ただし、インターネット等の受講環境の通信費は受講者負担となります。）

11. 選考結果

選考結果は合否に関わらず E-mail にて参加申込者あてに 10 月末頃までに通知いたします。

※提出された個人情報は、本研修会の遂行及び本事業の目的以外に使用しません。

12. お申込みの注意

研修内容はビデオ収録を予定しております。

13. 問い合わせ先

岡山大学 医療系研究推進課

E-mail : mae6605@adm.okayama-u.ac.jp TEL : 086-235-6503